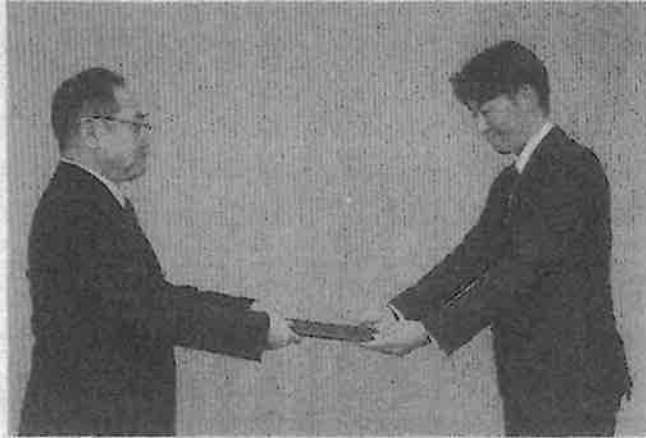


東京の物流施設仲介を買収

福山のSRHD

不動産事業に相乗効果

物流やアパレル業など——ジェント（東京都千代



ディールエージェントの仲辻嘉人社長（左）と書面を取り交わす荒木社長

わりのある物流不動産事業との相乗効果を期待する。

ディールエージェントは2009年設立。運送業者などを対象に、物流施設に特化した不動産仲介事業を主力とする。施設を借り上げて他の業者にまた貸しするサブリースやコンサルティング業も担う。26年3月期の売上高は約14億円。従業員11人。

7日、親会社のファンドから、SRHDが全株式を取得した。取得額は非公表。ディールエージェントは大型の施設を扱い、顧客には大手企業も

性の高い知見と、顧客とのつながりがある。SRグループの資産やネットワークを掛け合わせ、新しい価値を届けたい」と話した。（筒井晴信）